

## 丸亀市協働のまちづくりに関する市民アンケート報告書（概要）

## I 調査概要

## (1) 調査目的

「第2次丸亀市協働推進計画（仮称）」（計画期間：令和6年度～10年度）を策定するに当たり、協働の担い手となる市民の協働に関する現状と認識、課題などを把握し、今後の市の施策や事業を考えるうえでの基礎資料とする。

## (2) 調査対象

住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民

## (3) 実施期間

令和5年5月10日～令和5年5月31日

## (4) 実施方法

郵送配布・インターネット回答/郵送回収

## (5) 回収結果

配布数…3,000票、回収数…1,207票、回収率…40.2%

## (6) 質問内容

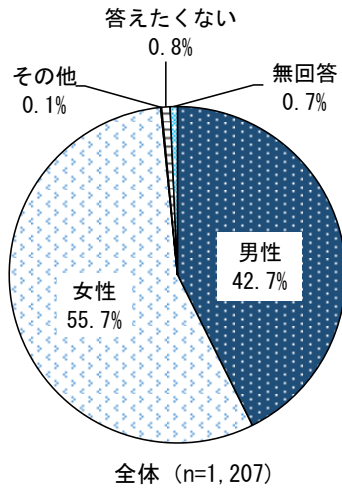
項目	質問内容	
1 回答者の属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	居住地域
	問4	同居者
2 日常生活や地域について	問5	近所づきあいの程度
	問6	住民同士の交流・助け合いがあると感じているか
	問7	住民同士の交流・助け合いが必要だと思うか
	問8	住民同士の交流・助け合いが必要だと思う理由
	問9	住民同士の交流・助け合いが必要だと思わない理由
3 市民活動について	問10	地域活動・市民活動について感じていること
	問11	地域活動・市民活動に参加したことがあるか
	問12	地域活動・市民活動に参加した理由
	問13-ア	地域活動・市民活動に参加して良かったこと
	問13-イ	地域活動・市民活動の課題
	問14	地域活動・市民活動が社会貢献につながっていると思うか
	問15	地域活動・市民活動に参加したことがない理由
	問16	地域活動・市民活動に参加したいと思うか
4 協働のまちづくりについて	問17	以前から「協働」という言葉を知っていたか
	問18	協働のまちづくりが行われていると思うか
	問19	協働のまちづくりを推進していくうえで有効だと思う取り組み
5 市民交流活動センター「マルタス」について	問20	マルタスを知っているか
	問21	マルタスを利用したことがあるか
	問22	利用したサービス
	問23	マルタスに期待すること
6 自由意見	問24	自由意見

## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の属性

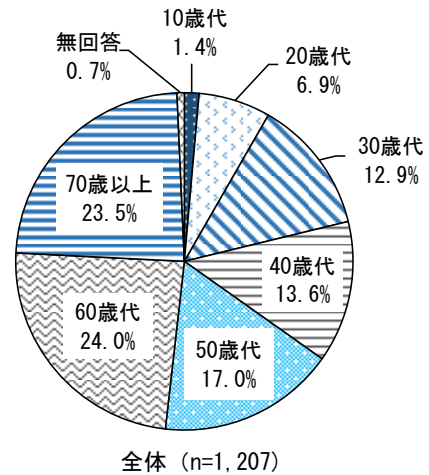
#### (1) 性別

性別は、「男性」が42.7%、「女性」が55.7%です。

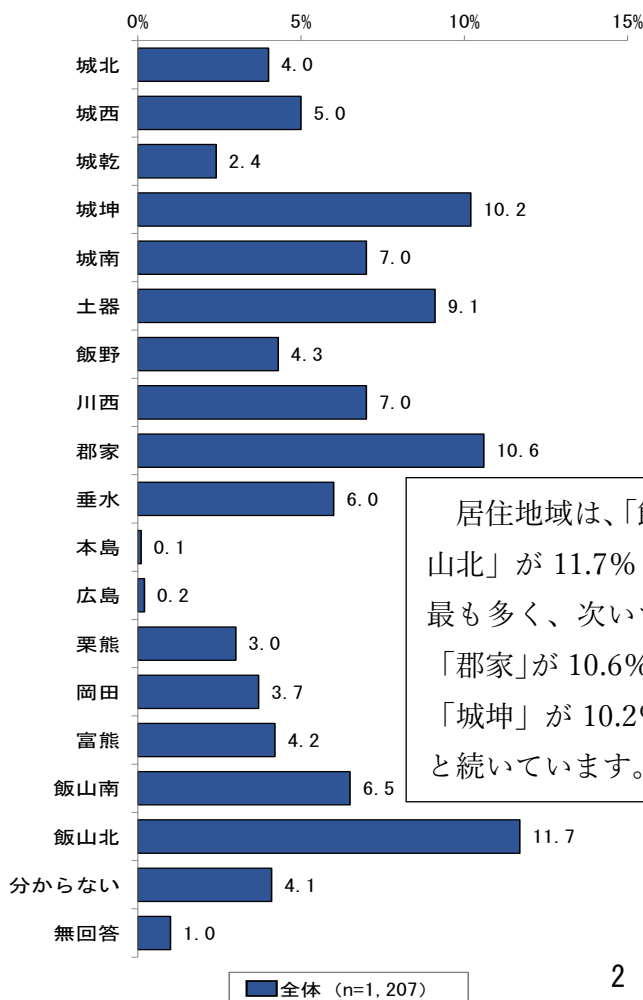


#### (2) 年齢

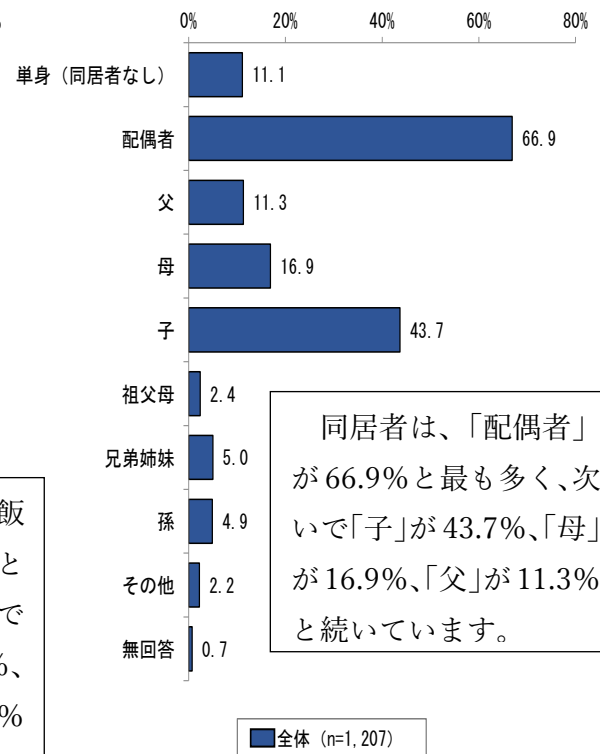
年齢は、「60歳代」が24.0%と最も多く、次いで「70歳以上」が23.5%、「50歳代」が17.0%と続いています。



#### (3) 居住地域



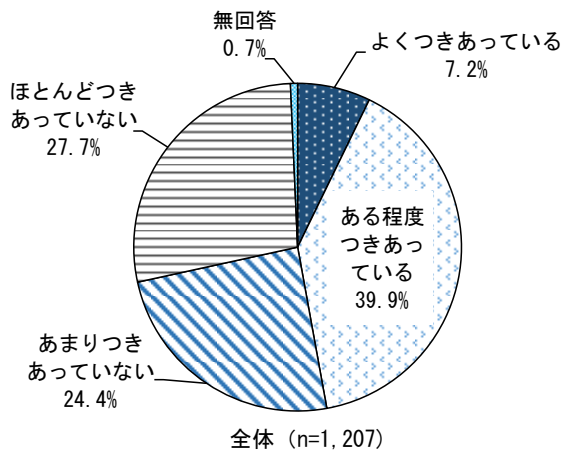
#### (4) 同居者



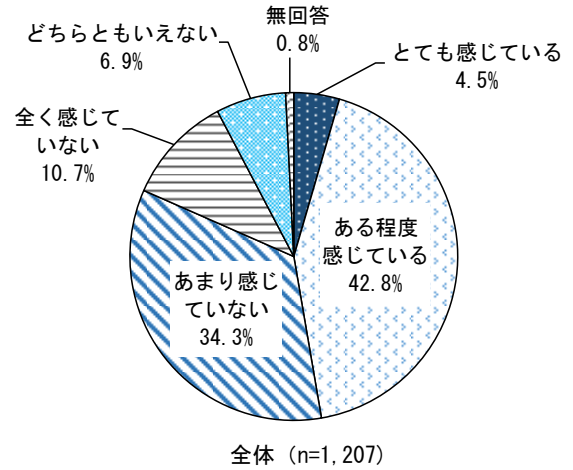
## 2 日常生活や地域について

近所づきあいについては、「よくつきあっている」と「ある程度つきあっている」の合計が 47.1%、住民同士の交流・助け合いがあると感じているかについては、「とても感じている」と「ある程度感じている」の合計が 47.3%と、いずれも半数程度の割合となっています。

【問 5: 近所づきあいの程度】

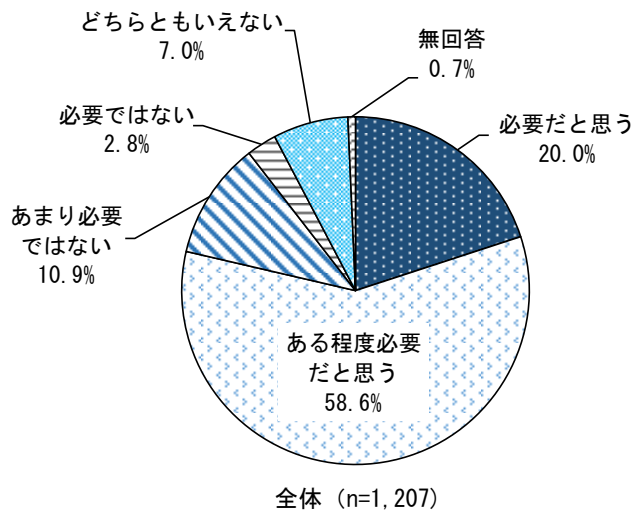


【問 6: 住民同士の交流・助け合いがあると感じているか】



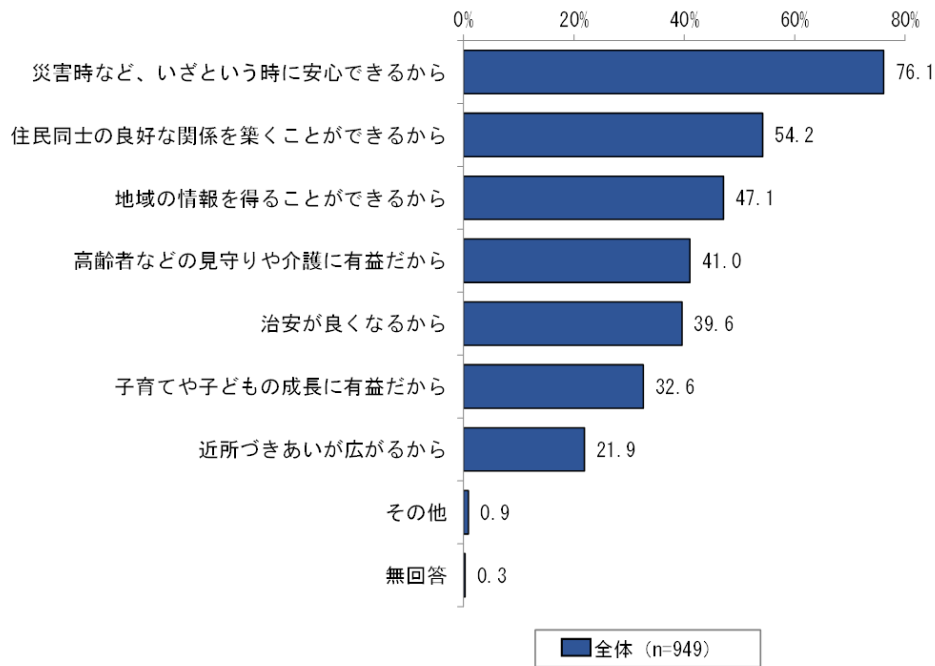
住民同士の交流・助け合いが必要だと思うかについては、「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計が 78.6%となっており、必要だと感じながらも、近所づきあい等がないという方が一定程度存在すると考えられます。

【問 7: 住民同士の交流・助け合いが必要だと思うか】

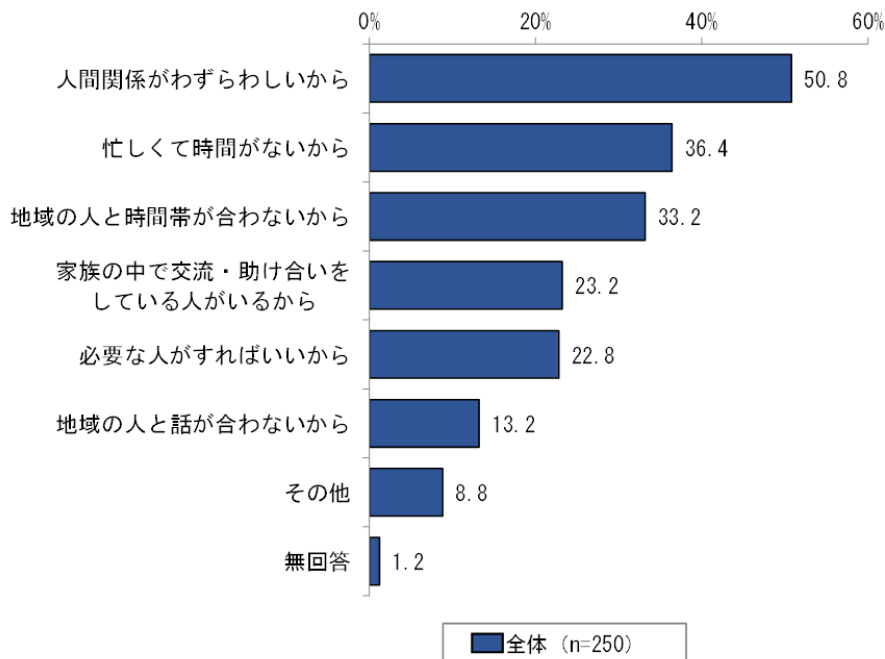


住民同士の交流・助け合いが必要だと思う理由としては、「災害時など、いざという時に安心できるから」が76.1%となっています。一方、必要だと思わない理由としては「人間関係がわずらわしいから（50.8%）」や「忙しくて時間がないから（36.4%）」の割合が高くなっており、非常時に協力し合えるようにするためにも、日ごろから人間関係の問題に配慮しながら、ある程度の関係性を構築できるような工夫が必要であると考えられます。

【問 8: 住民同士の交流・助け合いが必要だと思う理由】



【問 9: 住民同士の交流・助け合いが必要だと思わない理由】

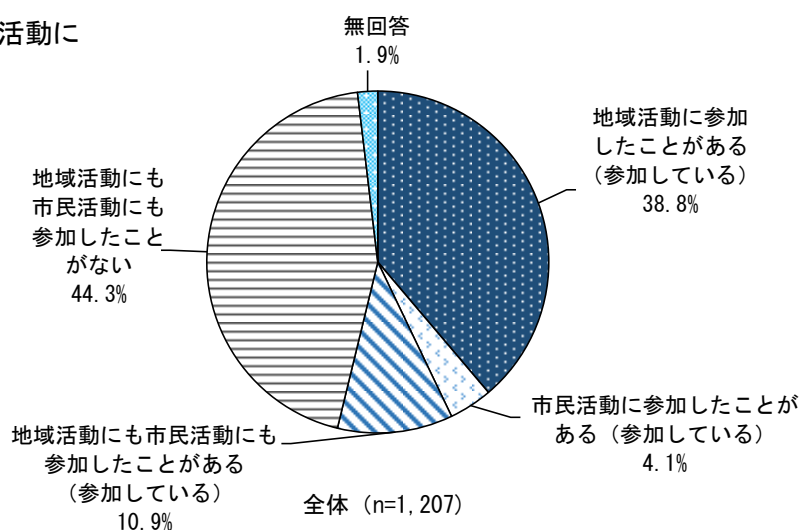


### 3 市民活動について

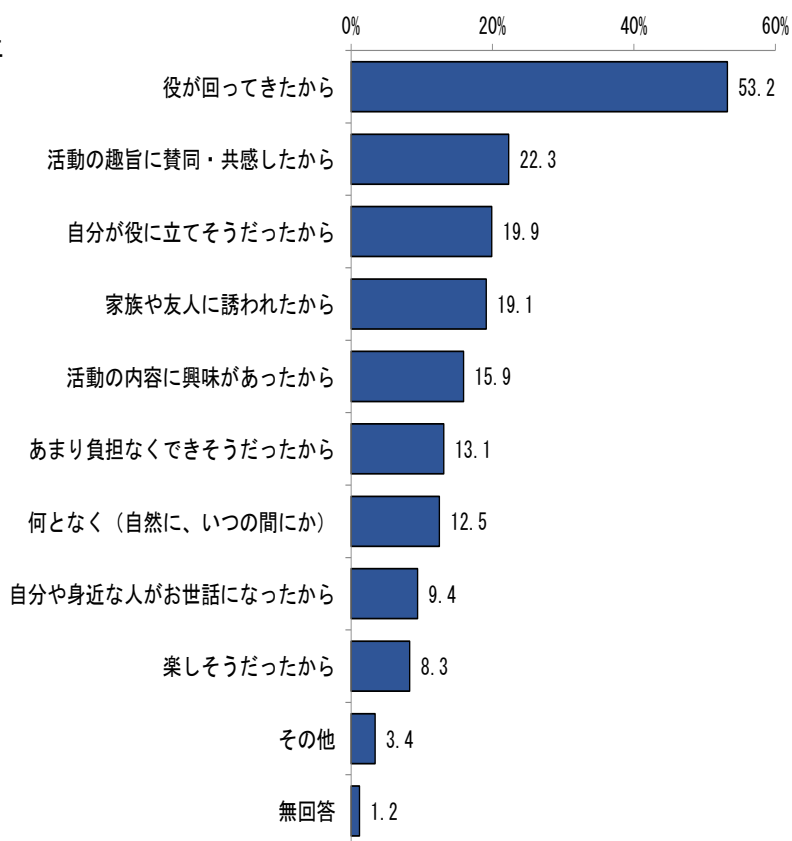
地域活動・市民活動に参加したことがあるかについては、「地域活動に参加したことがある（38.8%）」「市民活動に参加したことがある（4.1%）」「地域活動にも市民活動にも参加したことがある（10.9%）」を合計すると53.8%であり、半数以上が地域活動・市民活動への参加経験があると回答しています。

ただし、地域活動・市民活動に参加した理由については「役が回ってきたから」が53.2%で最も高い割合となっており、自発的な理由（「活動の趣旨に賛同・共感したから」「活動の内容に興味があったから」）の割合を大きく上回っています。

【問 11: 地域活動・市民活動に参加したことがあるか】



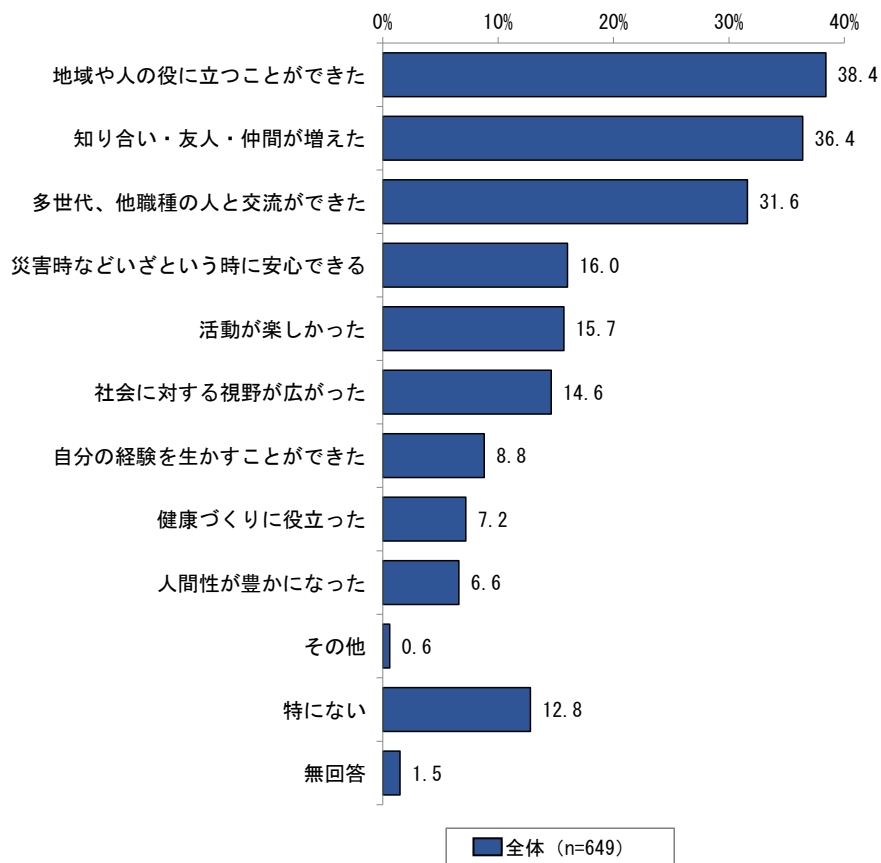
【問 12: 地域活動・市民活動に参加した理由】



地域活動・市民活動に参加して良かったことについては、「地域や人の役に立つことができた (38.4%)」や「知り合い・友人・仲間が増えた (36.4%)」、「多世代、他職種の人と交流ができた (31.6%)」等、様々な点が挙げられており、「特にない」は12.8%と少数となっています。

このことから、参加経験者の体験談を周知していくことも、地域活動・市民活動への参加を促す方法の一つと考えられます。

#### 【問 13-ア:地域活動・市民活動に参加して良かったこと】

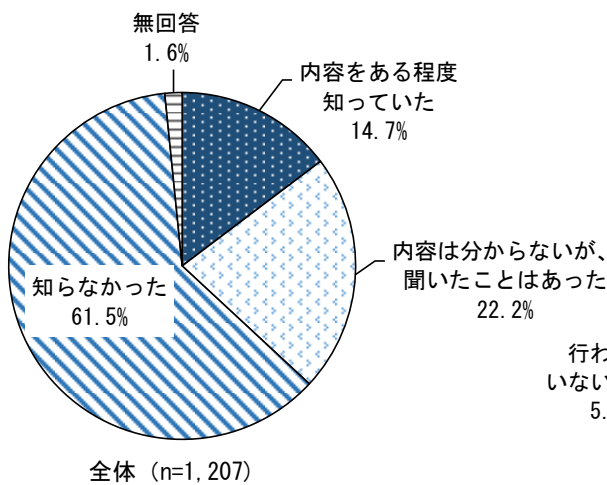


#### 4 協働のまちづくりについて

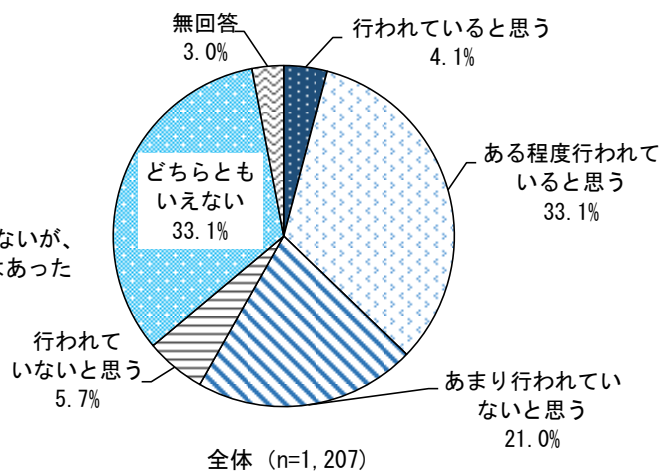
アンケート回答以前から「協働」という言葉を知っていたかについては「知らなかった」の割合が61.5%と半数以上を占めており、内容まで知っていた人は14.7%となっています。

また、協働のまちづくりが行われていると思うかについては、「行われていると思う」と「ある程度行われていると思う」を合わせた「行われていると思う（計）」が37.2%、「あまり行われていないと思う」と「行われていないと思う」を合わせた「行われていない（計）」が26.7%、「どちらもいえない」が33.1% となっています。

【問 17: 以前から「協働」という言葉を知っていたか】

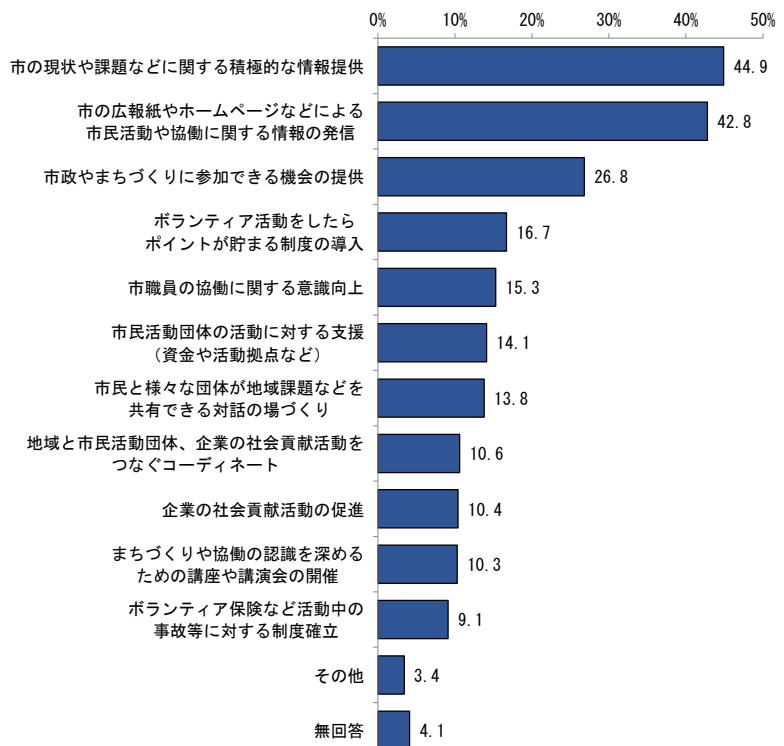


【問 18: 協働のまちづくりが行われていると思うか】



市が協働のまちづくりを推進していくうえで有効だと思う取り組みについては、「市の現状や課題などに関する積極的な情報提供 (44.9%)」や「市の広報紙やホームページなどによる市民活動や協働に関する情報発信 (42.8%)」の割合が高くなっており、情報発信等による認知度向上から取り組んでいくことが求められています。

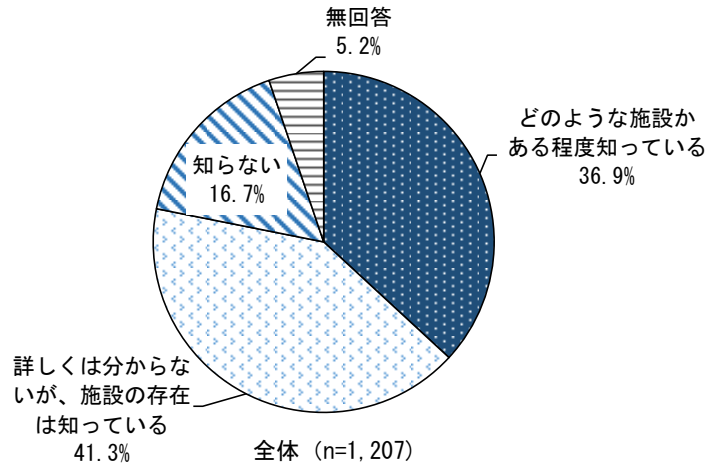
【問 19: 協働のまちづくりを推進していくうえで有効だと思う取り組み】



## 5 市民交流活動センター「マルタス」について

マルタスを知っているかについては、「詳しくは分からないが、施設の存在は知っている」が41.3%と最も高く、次いで「どのような施設かある程度知っている」が36.9%となっており、存在自体は約8割が認知しているのに対し、こういった施設か知っているのはその内の半数程度となっています。

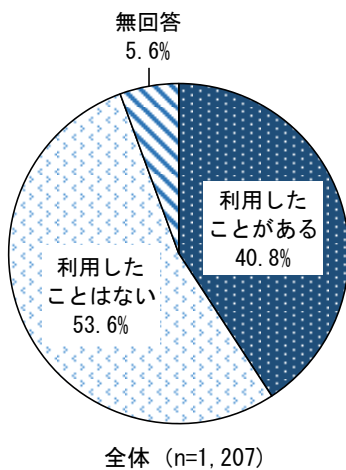
【問 20:マルタスを知っているか】



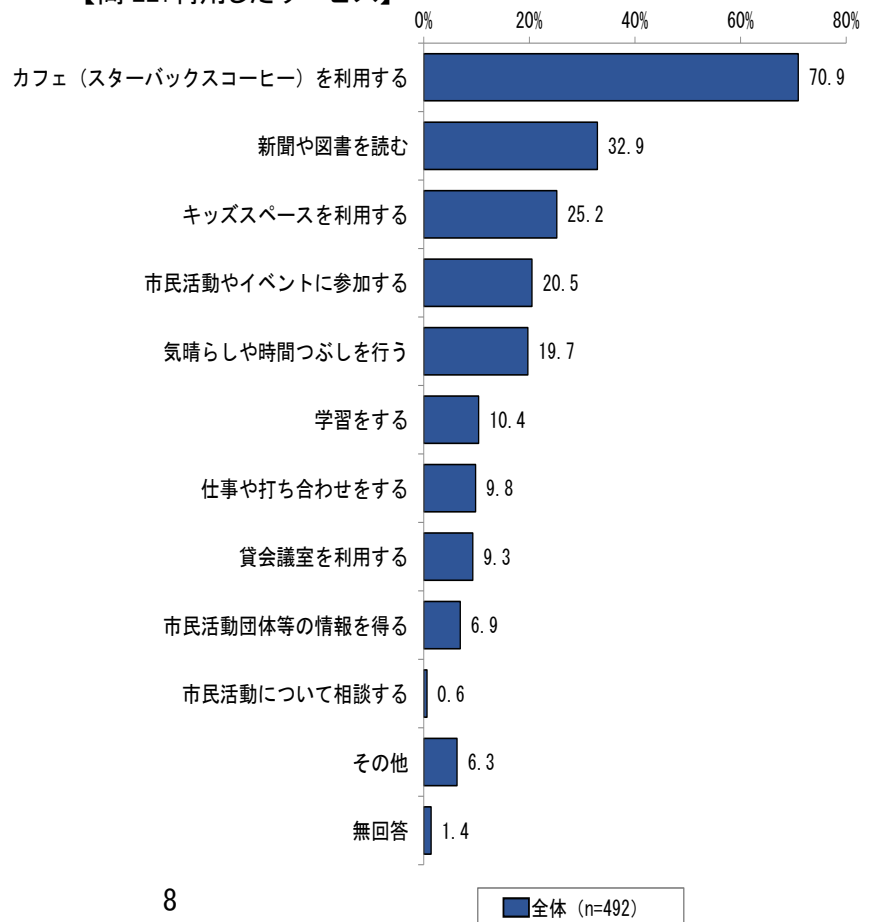
マルタスを利用したことがあるかについては、「利用したことがある」が40.8%となっており、上述した認知状況の「どのような施設かある程度知っている」の割合を上回っていることから、利用したことはあっても施設の詳細を知らない人が一定数いることがわかります。

また、利用したサービスは「カフェ（スターバックスコーヒー）を利用する」が7割以上となっています。

【問 21:マルタスを利用したことがあるか】



【問 22:利用したサービス】





今後マルタスに期待することについては、「何気なく立ち寄ることができる場」が48.6%と最も高く、次いで「イベントの実施」が39.4%、「市民活動や市民活動団体に関する情報発信」が20.0%、となっています。

カフェの利用が多いことから「何気なく立ち寄ることができる場」としての期待は高いことがわかりますが、イベントや市民活動に関する情報発信への期待も一定数あることから、市民が落ち着ける場所としての空間はそのままに、市民活動や協働に関するイベントを開催することで、マルタスをより有効に活用することができると考えられます。

【問 23: マルタスに期待すること】

